

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	野池親水公園整備事業
事業主体 (連絡先)	野池区
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	6,004,800 円

事業内容

昨年度の第2公園造成に続き、第2期工事として上流地区の立木の伐採整備、地面改良工事、取り付け道路の設置等を行い、駐車場およびキャンプスペースを作った。簡易水洗トイレ施設の新設により、「第3公園」としての利用可能な環境整備を行った。また遊歩道を整備することで、親水公園全体を楽しめる環境とした。地域住民も協同作業として、手作業で出来る公園整備作業に参加し、より良い安全でキレイな公園作りに取り組んだ。集客面積が増える事により、現状益々増えて来ている来園者への対応が可能となった。今回の新規公園整備面積は約5,540㎡。



【造成した野池第3親水公園】

【目標・ねらい】

- ①地区民の協力を得て新たな公園を造成することで公園に愛着を持って利用してもらう。
- ②子供たちの自然教育の場、家族のコミュニケーションの場としての役割を担う。
- ③昨年より来園者の増加

事業効果

- ①地区住民の協力もあり大変すばらしい公園を造成することができた。公園に愛着を持ってもらうことで、夏場地区民の多くが積極的に親戚等帰省客を親水公園に案内して川遊びやバーベキュー等で楽しむ光景が大幅に増えただけでなく、秋のシーズンも多くの利用客が訪れ大変賑わうことができた。
- ②多くの利用客が家族や子供を連れての来園であり、自然とのふれあいや家族のコミュニケーション増進に役立つことができ、子供に自然の楽しさやすばらしさを体験することで、地域への愛着を持ってもらうことができた。
- ③来園受入可能者数は昨年の2,500人から3,000人と増加した。今年に来園者は2,800と昨年の2,400人よりも大きく増加することができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

地区民の協力により素晴らしい第3公園をオープンさせ、トイレ施設も完備された。また来園者を大きく増加させることができ、自然体験を通じて家族や地域への愛着に貢献することができた。

今後の取り組み

来年度はバーベキューハウスの製作、案内カンバン、注意カンバン等の設置、公園の区画整理、植樹を行う等、公園を整備していくことで利用客を更に増やしていく。またSNSでの発信等、公園利用促進のPRを進めていくことで更に認知度を高める。公園整備が整った暁には、維持管理体制を整え、有料化観光公園として、来る三遠南信道開通や、リニア新幹線開通に伴う、拡大観光地の1拠点として、中山間地区の維持に寄与する大きな目標が立てられる。また、地域住民、保育園、小学校等の利用範囲も拡大され、更に良いコミュニケーションの場として、子供達の情操教育の場としての利用が深まる。地区子供達が公園を利用した、アウトドア環境の中で、飯盒すいさんや川遊び、キャンプファイヤー等の「夏休みお楽しみ会」を実施、親子のふれあいや地域住民とのふれあいを通じて、将来この地区を守って行っていただく子供達に、地域の良さを体感してもらい、公園を通じての地域への愛着と自然体験をしてもらう。